平成 27 年度 建築積算士試験 【二次試験】

問題 I-1 「建築積算士ガイドブック」、「建築数量積算基準」および「建築工事内訳書標準書式」に従って、下記の躯体数量集計表をもとに細目別内訳書の①~⑤の数量を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

ただし、鉄筋・鉄骨は所要数量とする。

また、⑥~⑩の金額を算出し、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

躯体数量集計表

名称	摘要	設計数量	単位
異形鉄筋	SD295A D13	95 .27	t
普通コンクリート	27N S-18	196 .48	m ³
普通合板型枠	地上軸部 階高4.0m	274 .95	m ²
H形鋼	SS400 H-200×100×5.5×8	27 .83	t
アンカーボルト	M20 L=600	48 .	本

細目別内訳書

名称	摘要	数量	単位	単価	金額(円)
異形鉄筋	SD295A D13	① .	t	60,000	6
普通コンクリート	27N S-18	2 .	m ³	16,000	7
普通合板型枠	地上軸部 階高4.0m	3	m ²	5,500	8
H形鋼	SS400 H-200×100×5.5×8	4	t	80,000	9
アンカーボルト	M20 L=600	5	本	300	(10)

問題 I-2 「建築積算士ガイドブック」、「建築数量積算基準」および「建築工事内 訳書標準書式」に従って、下記の種目別内訳書の ① の名称を解答用 紙の所定の欄に記入しなさい。

> また、②~⑤の金額を算出し解答用紙の所定の欄に記入しなさい。 ただし、共通仮設費率、一般管理費等率は表-1「共通仮設費率」、 表-2「一般管理費等率」を用い、計算結果は千円未満を切り捨てること。

種目別内訳書

名 称	摘	要	数量	単位		金額	(円)
直接工事費			1	式	586	435	000
共通仮設費			1	式	12		000
純工事費					13)		000
(1)			1	式	43	367	000
工事原価					14)		000
一般管理費等			1	式	1 5		000
合計 (工事価格)							

表-1「共通仮設費率」

直接工事費(円)	共通仮設費率
$400,000,001 \sim 500,000,000$	3.21
$500,000,001 \sim 600,000,000$	3.14
$600,000,001 \sim 700,000,000$	3.07
$700,000,001 \sim 800,000,000$	3.01

表-2「一般管理費等率」

工事原価 (円)	一般管理費等率 (%)
500,000,001 ~ 600,000,000	9.26
600,000,001 ~ 700,000,000	9.18
700,000,001 ~ 800,000,000	9.10
800,000,001 ~ 900,000,000	9.02

平成 27 年度 建築積算士試験 【二次試験】

問題 II 図面 II −1から II −5までについて、下記の部分の設計数量(鉄筋は設計長さ) を「建築数量積算基準」および「建築積算士ガイドブック」に従って計測・計算 し、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

鉄筋のフック、定着、重ね継手の長さおよび鉄筋径の倍数長さは、右記の表および図面Ⅱ-1共通配筋図の値を使用しなさい。

解答は、小数点以下第3位を四捨五入して、小数点以下第2位までを記入しなさい。

※・図面の () 印は計測・計算の対象部材とする。

・定着および重ね継手のフックは設けない。

記

1.	基礎	F1	[X1通り、Y1通り]	1か所
2.	基礎梁	FG1	[Y1通り、X1~X2通り間]	1か所
3.	2階柱	C1	[X1通り、Y1通り]	1か所
4.	2階大梁	G2	[X1通り、Y1~Y2通り間]	1か所
5.	2階小梁	B1	[X1~X2通り、Y2~Y3通り間]	1か所
6.	R階床板	S1	[X1~X2通り、Y1~Y2通り間]	1か所

使用材料

コンクリート	使用区分	コンクリート設計基準強度
普通コンクリート	躯体全般	$24\mathrm{N/mm}^2$

鉄 筋	規格	強度	径	継 手
異形鉄筋	JIS G3112	SD295A	D10, D13, D16	重ね
異形鉄筋	JIS G3112	SD345	D19, D22, D25	圧 接

鉄筋の断面表示

20(1)) • 5 H H	120.3						
異 形	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29
記号	•	X	Ø	•	0	•	\otimes

柱・梁鉄筋フック長さ

(単位:m)

		<u> </u>
(1) 曲げ角180°の場合	呼び名に 用いた数値 d	SD295A,SD295B SD345
d	10	0.11
4d以上 — D — L	13	0.14
	16	0.17
dが16以下	19	0.23
SD295A, SD295B D≥3. 0d SD345 dが19~29	22	0.27
D≥4. 0d	25	0.30
	29	0.35

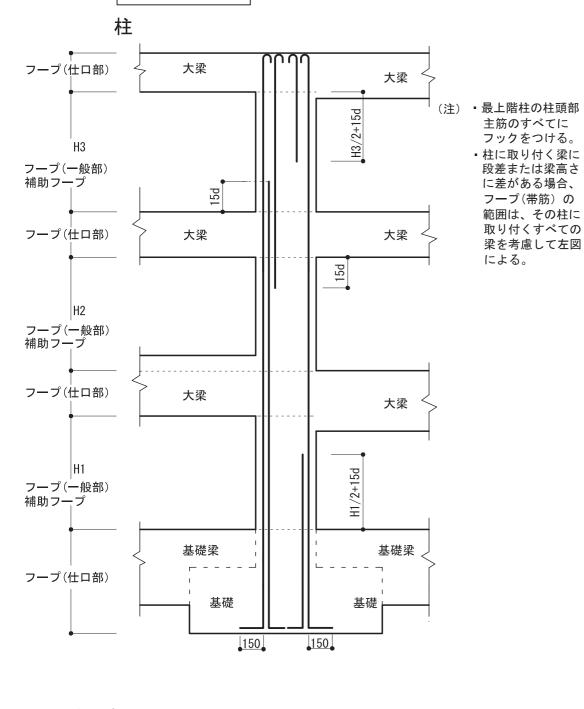
鉄筋径の倍数長さ

(単位:m)

呼び名に用い た数値 倍数	10	13	16	19	22	25	29
10d	0.10	0.13	0.16	0.19	0.22	0.25	0.29
15d	0.15	0.20	0.24	0.29	0.33	0.38	0.44
20d	0.20	0.26	0.32	0.38	0.44	0.50	0.58
25d	0.25	0.33	0.40	0.48	0.55	0.63	0.73
30d	0.30	0.39	0.48	0.57	0.66	0.75	0.87
35d	0.35	0.46	0.56	0.67	0.77	0.88	1.02
40d	0.40	0.52	0.64	0.76	0.88	1.00	1.16
45d	0.45	0.59	0.72	0.86	0.99	1.13	1.31
50d	0.50	0.65	0.80	0.95	1.10	1.25	1.45

- (注) 1. dは異形鉄筋の呼び名の数値を表す。
 - 2. 径の異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い方のdによる。

共通配筋図 図面Ⅱ-1



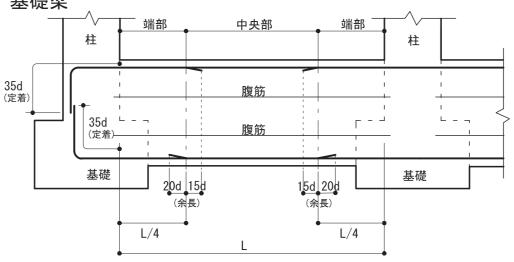
基礎梁

大 梁

端部

20d 15d (余長)

L/4



中央部 端部

腹筋 35d 35d → (定着) (定着)」 柱 35d 腹筋 (定着) 35d (定着)

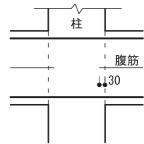
15d 20d (余長)

L/4

(注) 基礎梁・大梁・小梁、共通 ── 印は、余長位置を示す。

梁 腹筋

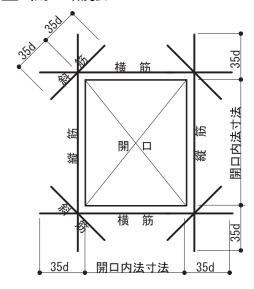
- 腹筋の継手長さは、150mmとする。
- 腹筋の余長は、30mmとする。



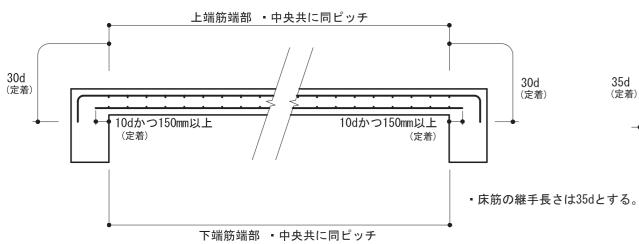
壁

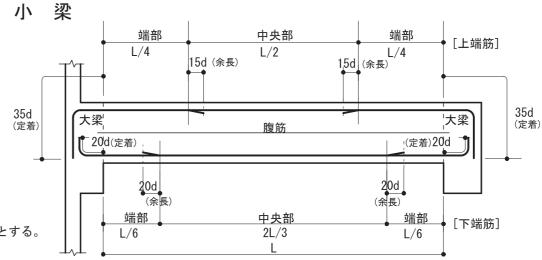
・壁筋の定着長さは、縦・横とも 30dとする。継手長さは35dとする。

壁 開口補強

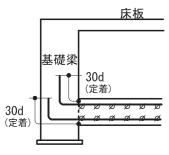


板 床

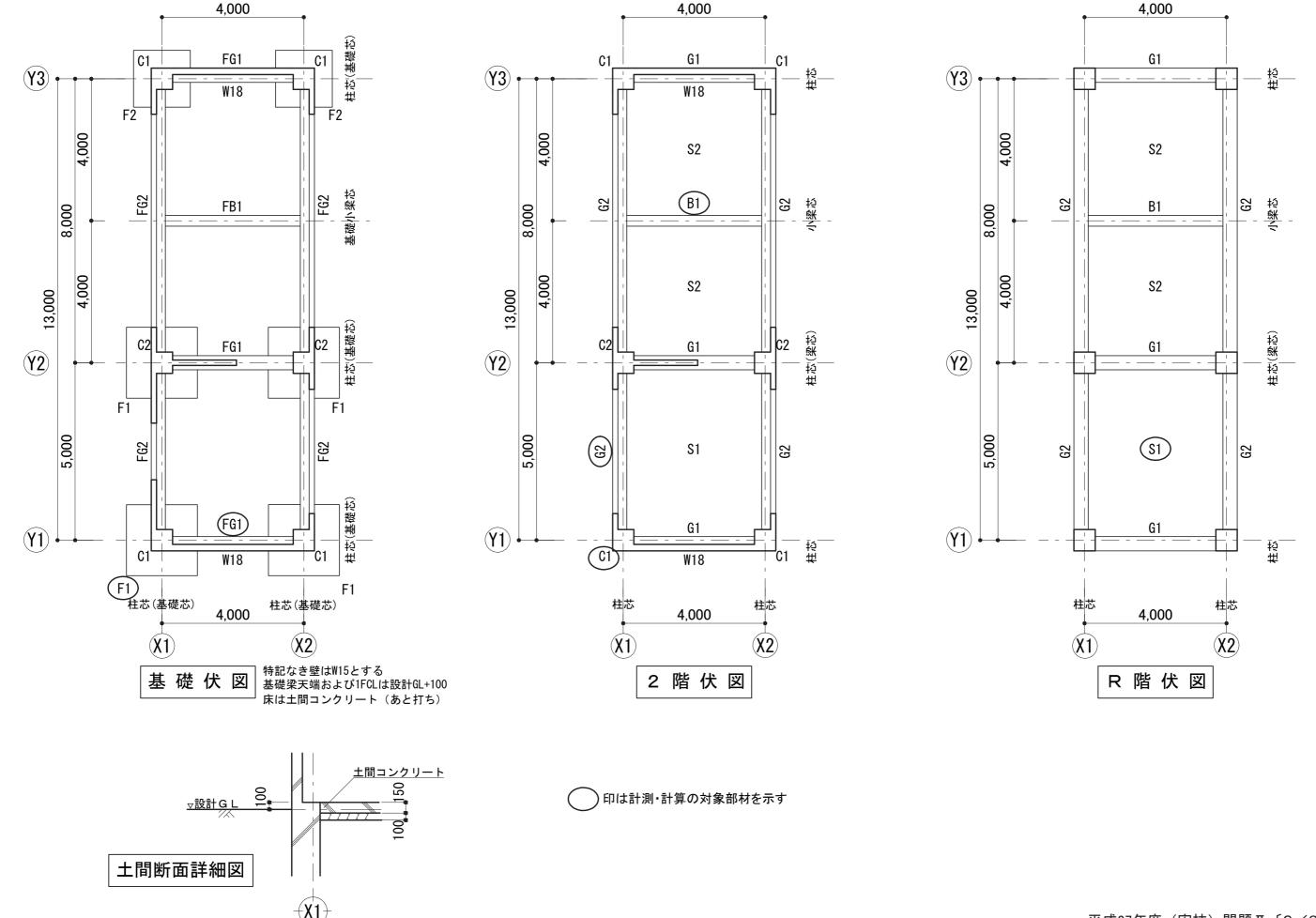


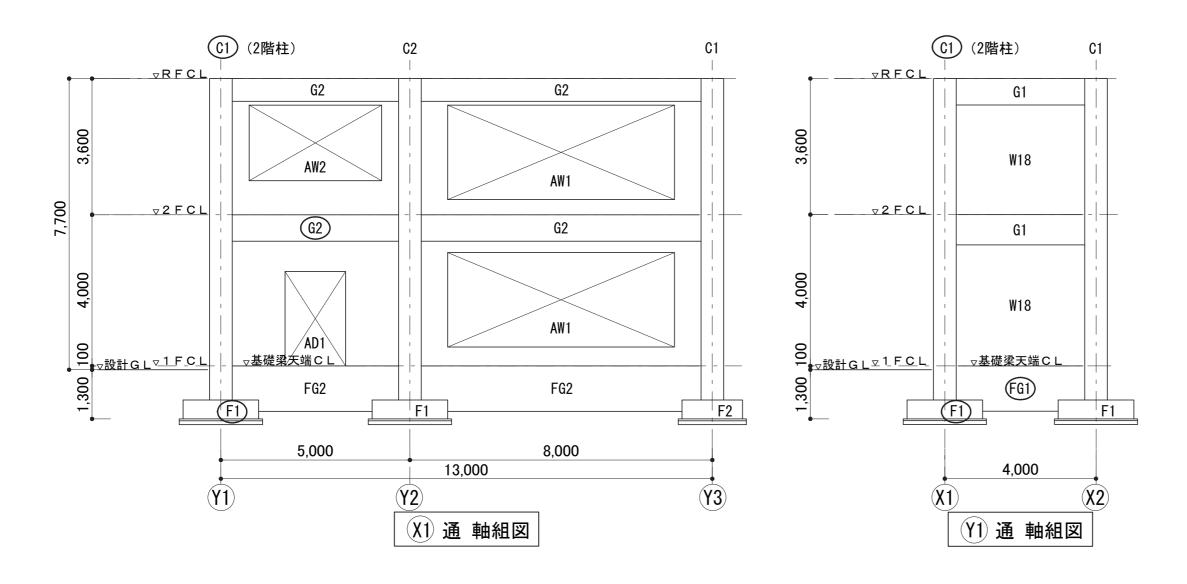


底 盤



図面Ⅱ-2





建具リスト

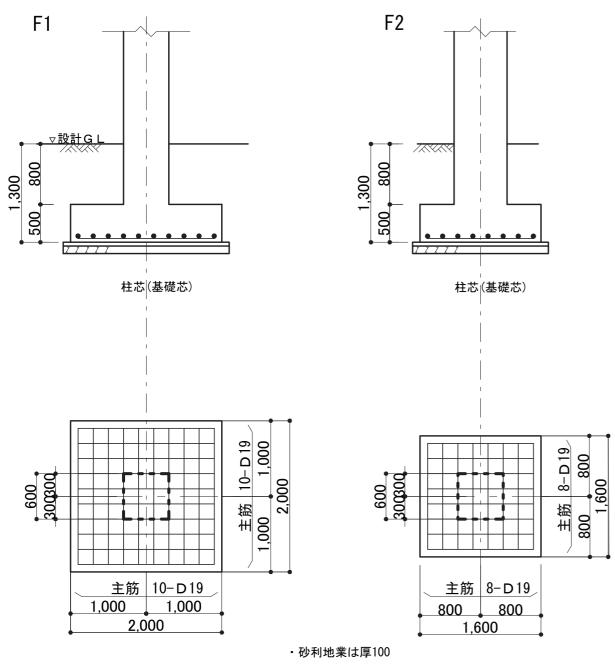
符号	開口部(内法寸法)			
ণি ক	横	縦		
AW1	6, 000	2, 500		
AW2	3, 500	2, 000		
AD1	1, 600	2, 500		

印は計測・計算の対象部材を示す

特記なき壁はW15とする CLは、コンクリート天端を示す

図面Ⅱ-4

基礎断面表



・捨コンクリートは厚50

基 礎 梁 断 面 表 特記なき場合、 幅止筋はD10@600							
符号	F(31	FG2				
位 置	端部	中 央	端部	中央			
断面	D 7 7 7 7	#	xx xx paga	2000 27777			
B×D	400 ×	1, 200	400 ×	1, 200			
上端筋	4-D22	3 – D22	4-D22	3 – D22			
下端筋	3-D22	3-D22 4-D22		4-D22			
スタラッフ [°]	D130	@200	D130	@150			
腹筋	4-	D13	4-	D13			

基礎小	梁断面表	特記なき場合、 幅止筋はD10@600
符号	FB1	
位置	全断面	
断面	D B	/腹筋 /幅止筋]
B×D	300 × 90	0
上端筋	3-D19	
下端筋	3-D19	
スタラッフ°	D10@20	00
腹筋	2-D10	

柱断面表

11 1	7 曲 衣			
階	符号	C1	C2	
	位 置	全断面	全断面	
2 階	断面	補助フープ (4) (5) (7		
	B×D	600 × 600	600 × 600	
	主筋	8-D22	8-D22,4-D25	
	フープ(仕口)	□ D13@150	□ D13@150	
	フープ(一 般)	□ D13@100	□ D13@100	
	補助フープ	+D10@600	#D10@600	
1 階	断面			
	B×D	600 × 600	600 × 600	
	主筋	4-D22、4-D25	8-D22、4-D25	
	フープ(仕口)	□ D13@150	□ D13@150	
	フ−プ(一 般)	□ D13@100	□ D13@100	
	補助フ−プ	+D10@600	#D10@600	

大 **梁 断 面 表** 特記なき場合、 幅止筋はD10@600

階	符号	G	1	G	2	
	位 置	端部	中 央	端部	中 央	
R 路	断 面	版 D 幅止 B		DO 0		
	B×D	400 ×	600	400 >	< 600	
	上端筋	4-D19	3-D19	3-D19	3— D19	
	下端筋	3-D19	4-D19	3-D19	3— D19	
	スタラッフ [°]	D13@	@150	D13@200		
	腹筋	2-1	O 10	2-D10		
2 階	断面	• 2000	0000	0.0.0	 aaaa	
2 階	断 面 B×D	•	2000			
2 階		2000	2000	0.0.0		
2 階	B×D	400 >	700	400>	< 700	
2 階	B×D 上端筋	400 × 4-D 22	7700 4-D22 4-D22	400 > 4-D22 3-D22	< 700 3 – D 22	

床板断面表

佐 旦	E	位署	短辺	方向	長辺	方向	
符号	厚	位 置	端部	中 央	端部	中 央	
S1	150	上端筋	D130	@200	D10@200		
31	150	下端筋	D13	@200	D10@200		
S2	上端筋		D10@150		D10@200		
) SZ	150	下端筋	D10@150		D10@200		

小 梁 断 面 表 特記なき場合、 幅止筋はD10@600

符号	B1				
位 置	端部	中央			
断面	腹筋 page with the page with th				
B×D	300 × 600				
上端筋	3-D19	3— D19			
下端筋	3-D19	3— D19			
スタラッフ [°]	D13@200				
腹筋	2-	D 10			

壁断面表

:	符号	W18	W15		
断面		× × k k k k k k k k k k k k k k k k k k			
	壁厚	180	150		
	縦 筋	D13@200ダブル	D10@200シングル		
	横筋	D13@200ダブル	D10@200シングル		
幅止筋		D10@1,000			
開	縦筋	2-D13	1-D13		
祖補	横筋	2— D13	1 — D13		
強	斜筋 2-D13		1-D13		

平成 27 年度 建築積算士試験 【二次試験】

問題 Ⅲ 図面Ⅲ-1からⅢ-5までについて、下記の部分の設計数量を「建築積算士ガイドブック」および「建築数量積算基準」に従って計測・計算し、 解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

解答は、小数点以下第3位を四捨五入して、小数点以下第2位までを記入しなさい。

1. 外部(屋根)仕上 :屋根仕上のうち、解答欄に示す①~④までの数量。

2. 内部仕上 : 事務室、給湯室、女子更衣室、備品庫の仕上のうち、解答欄に示す⑤~⑩までの数量。 3. 開口部 : 平面図に記載の建具(SSD、AW、WD)の全数のうち、解答欄に示す⑩~仰までの数量。

4. 間仕切 : 軽量鉄骨間仕切下地 (LGS) のうち、解答欄に示す⑤の数量。

特記事項

1. 構造は、鉄筋コンクリート造とする。

2. 通り芯は、躯体および準躯体の柱芯、壁芯とする。

3. 外壁面 (X1通り・Y1通り) の内部側に、柱型、梁型を除いて断熱材t20吹付けとし、RC内壁への断熱材の折返しはないものとする。

4. 内部間仕切は、軽量鉄骨間仕切下地 (LGS) 100形とし、スラブ間の設置とする。ただし、梁の欠除はないものとする。

5. ブラインドボックスは、W200×D100とし、取合部に廻縁は不要とする。

6. 開口部においてSSDはステンレス製建具、AWはアルミ製建具、WDは木製建具を示す。建具面の塗装は、建具表の塗装係数を用いる。

7. 給湯室のミニキッチンは、接する幅木・壁の表面仕上(ビニル幅木・ビニルクロス)の施工前に設置するものとする。

8. 壁には、柱および壁付き梁は含まない。

屋根仕上

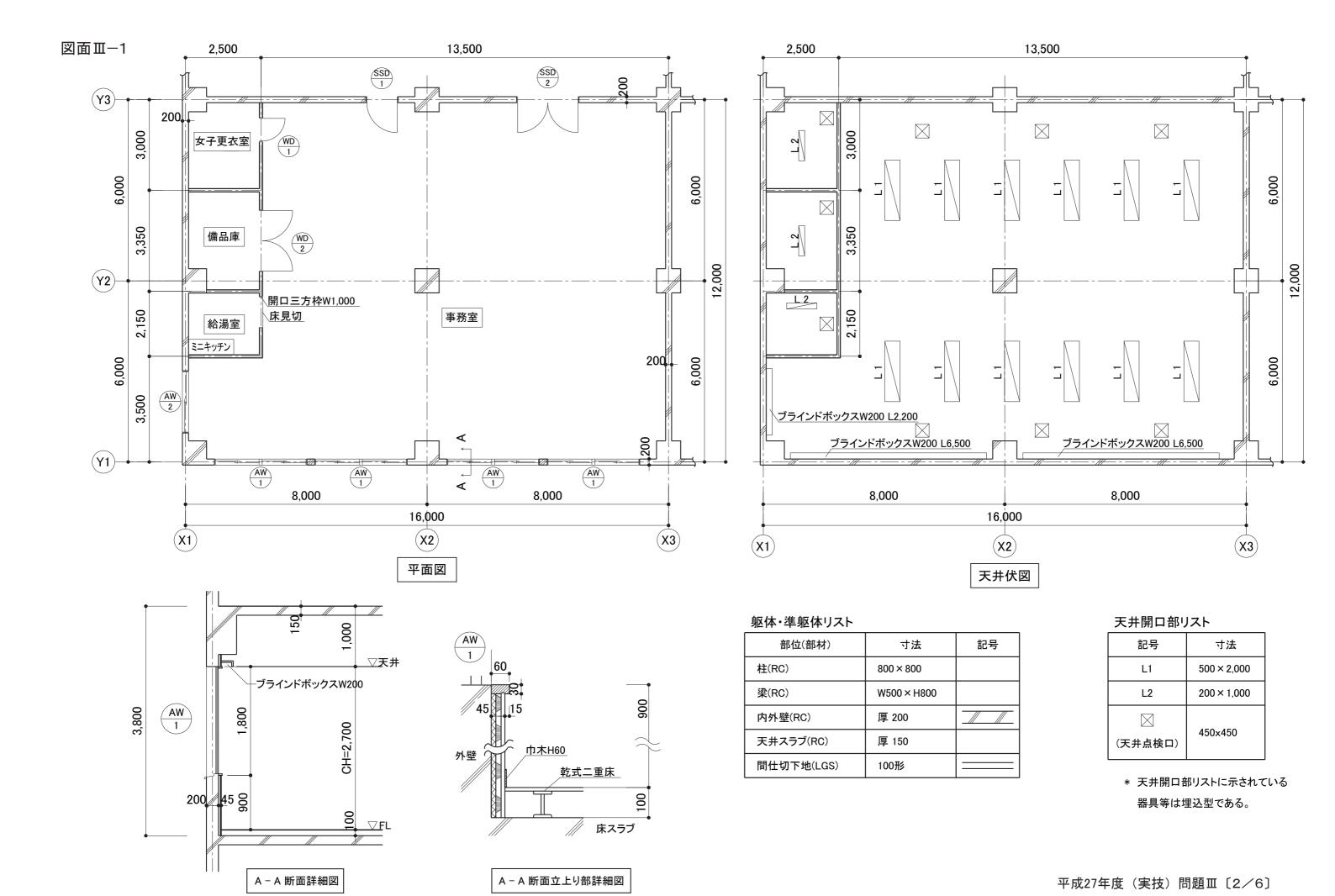
床 : コンクリート金こて押え、アスファルト防水、軽量コンクリートt80、軽量コンクリート金こて押え

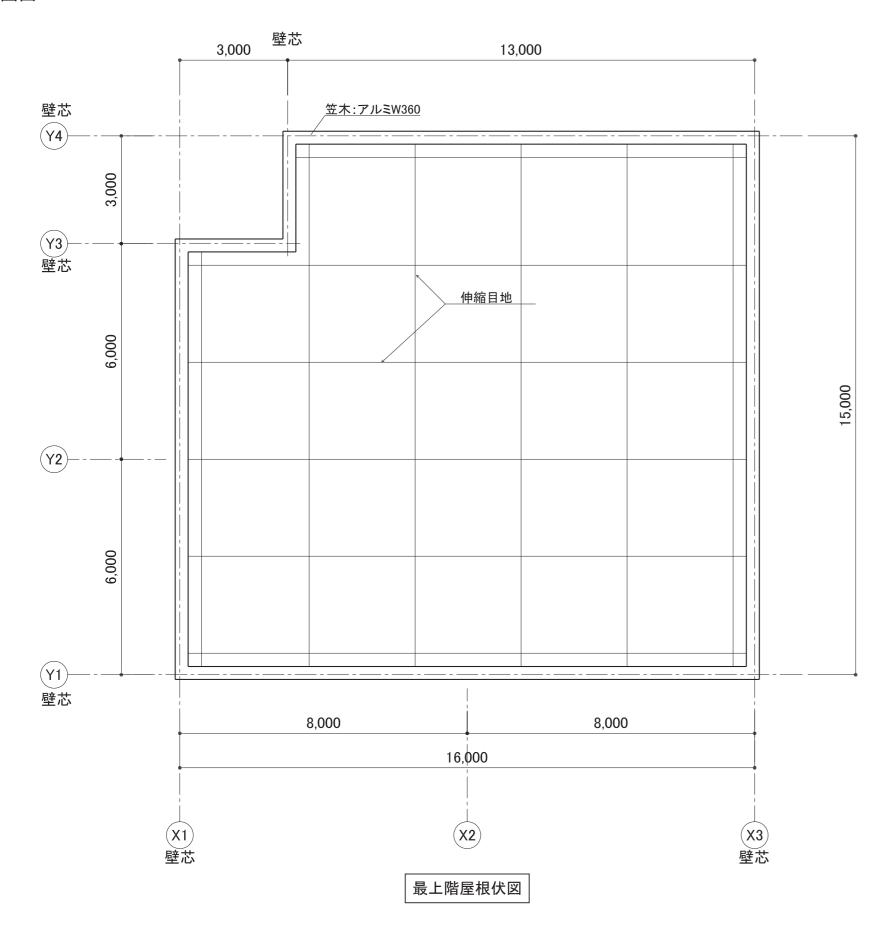
立上り:コンクリート打放し下地、アスファルト防水、乾式保護材

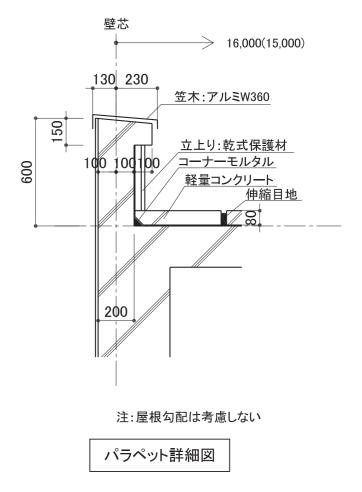
笠木 : アルミ笠木: W360

内部仕上表

部位	床		幅	木		壁・柱	Э.	#	廻縁	天井高	備考
部屋名	仕 上	下地	仕 上	下地	仕上	下地	仕上	下地	迴称	入升向	1)用 右
事務室	タイルカーペットA t6 乾式二重床 H94 (H=100)	RC	ビニル幅木 H60	壁に同じ	ビニルクロス	断熱材面:石こうボードt12.5GL コンクリート面:コンクリート打放し 間仕切面:石こうボードt12.5	ロックウール 吸音板 t9	石こうボード t9.5 LGS	塩ビ	2,700	ブラインドボックス (埋込型) アルミ製 W200×D100 天井点検口 450×450
給湯室	タイルカーペットA t6 乾式二重床 H94 (H=100)	RC	ビニル幅木 H60	壁に同じ		断熱材面:石こうボードt12.5 GL コンクリート面:コンクリート打放し 間仕切面:石こうボード t12.5	ロックウール 吸音板 t9	石こうボード t9.5 LGS	塩ビ	2,700	ミニキッチン L1,500×D600×H2,100 開口三方枠 木製 W1,000×H2,000 入口下部床見切 アルミ目地 天井点検口 450×450
女子更衣室	タイルカーペットA t6 乾式二重床 H94 (H=100)	RC	ビニル幅木 H60	壁に同じ		断熱材面:石こうボードt12.5 GL コンクリート面:コンクリート打放し 間仕切面:石こうボード t12.5	ロックウール 吸音板 t9	石こうボード t9.5 LGS	塩ビ	2,700	天井点検口 450×450
備品庫	タイルカーペットB t6 乾式二重床 H94 (H=100)	RC	ビニル幅木 H100	壁に同じ		断熱材面:石こうボードt12.5 GL コンクリート面:コンクリート打放し 間仕切面:石こうボードt12.5	EP塗り	石こうボード t12.5 LGS	塩ビ	2,700	天井点検口 450×450

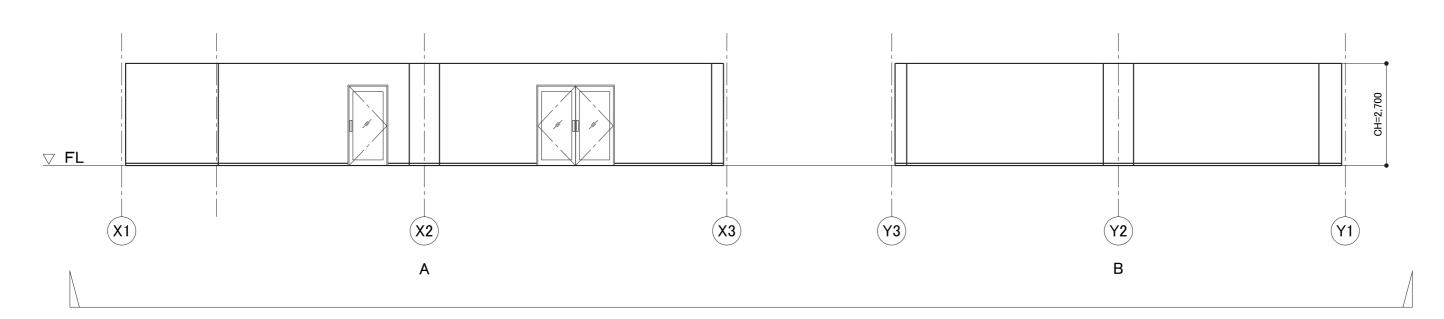


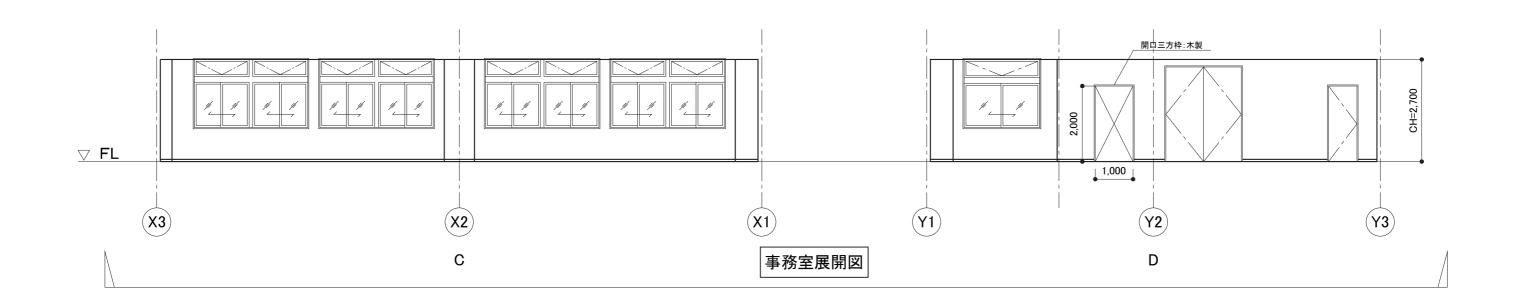




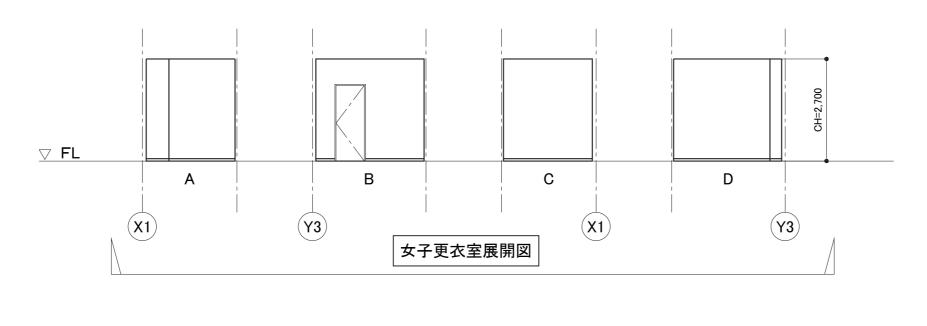
図面皿-3

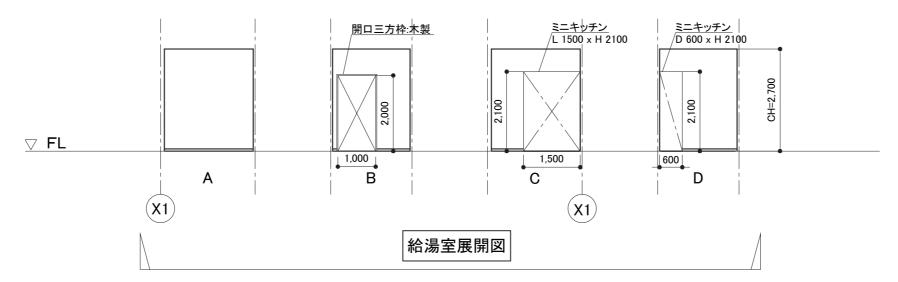


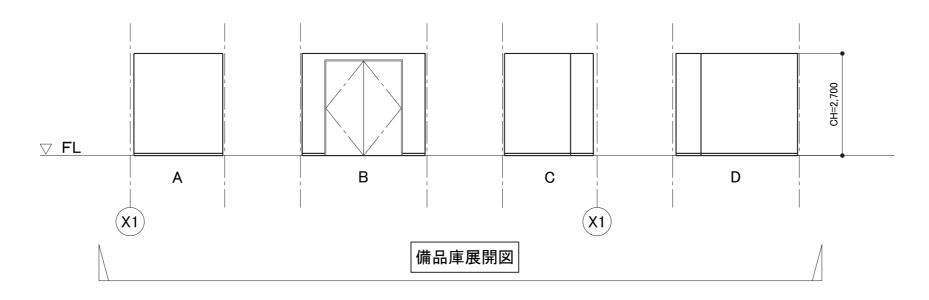












記号·建具名	SSD 1 片開ガラス框戸	SSD 2 両開ガラス框戸	AW 二連引違窓(排煙窓付)•(外部)
姿 図	1,000	1,000 1,000	アルミパネル 1,450 1b0 1,450 3,000
│ │ 材質•枠見込	ステンレス製・145	 ステンレス製・145	アルミ製・100
ガラス	フロートガラス t10	フロートガラス t10	網入磨き板ガラス t10
塗装(係数)			

記号·建具名	AW 2 引違窓(排煙窓付)•(外部)	WD 1 片開戸	WD 両開戸
姿 図	アルミパネル 005+ 051 000 1 1 000 1 1 000 1 1 000 1 1 0 0 1	750	005.2 0000 1,000 2,000
材質∙枠見込	アルミ製・100	木製•145	木製•145
ガラス	網入磨き板ガラス t10		
塗装(係数)		SOP (2.9)	SOP (2.6)

平成 27 年度 建築積算士試験 【二次試験】

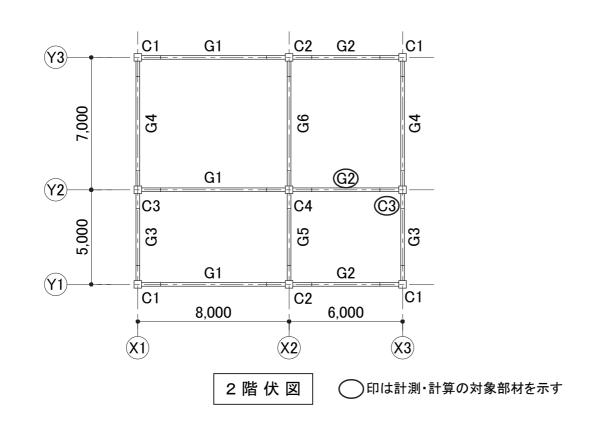
問題 Ⅳ 図面IV-1からIV-3について、下記の部分の設計数量を「建築積算士ガイドブック」および「建築数量積算基準」に従って計測・計算し、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。 解答は、小数点以下第3位を四捨五入して、小数点以下第2位までを記入しなさい。

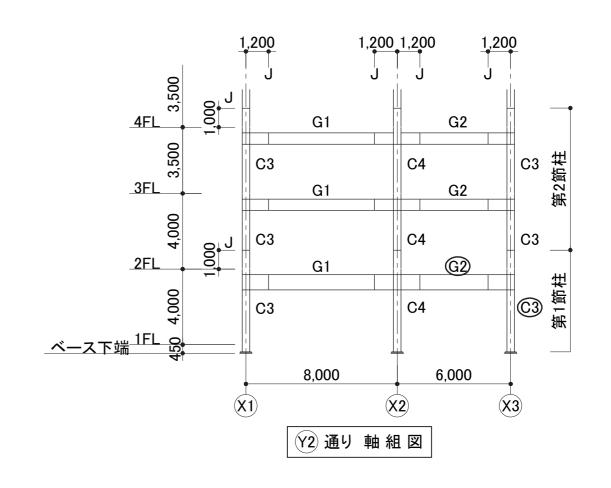
記

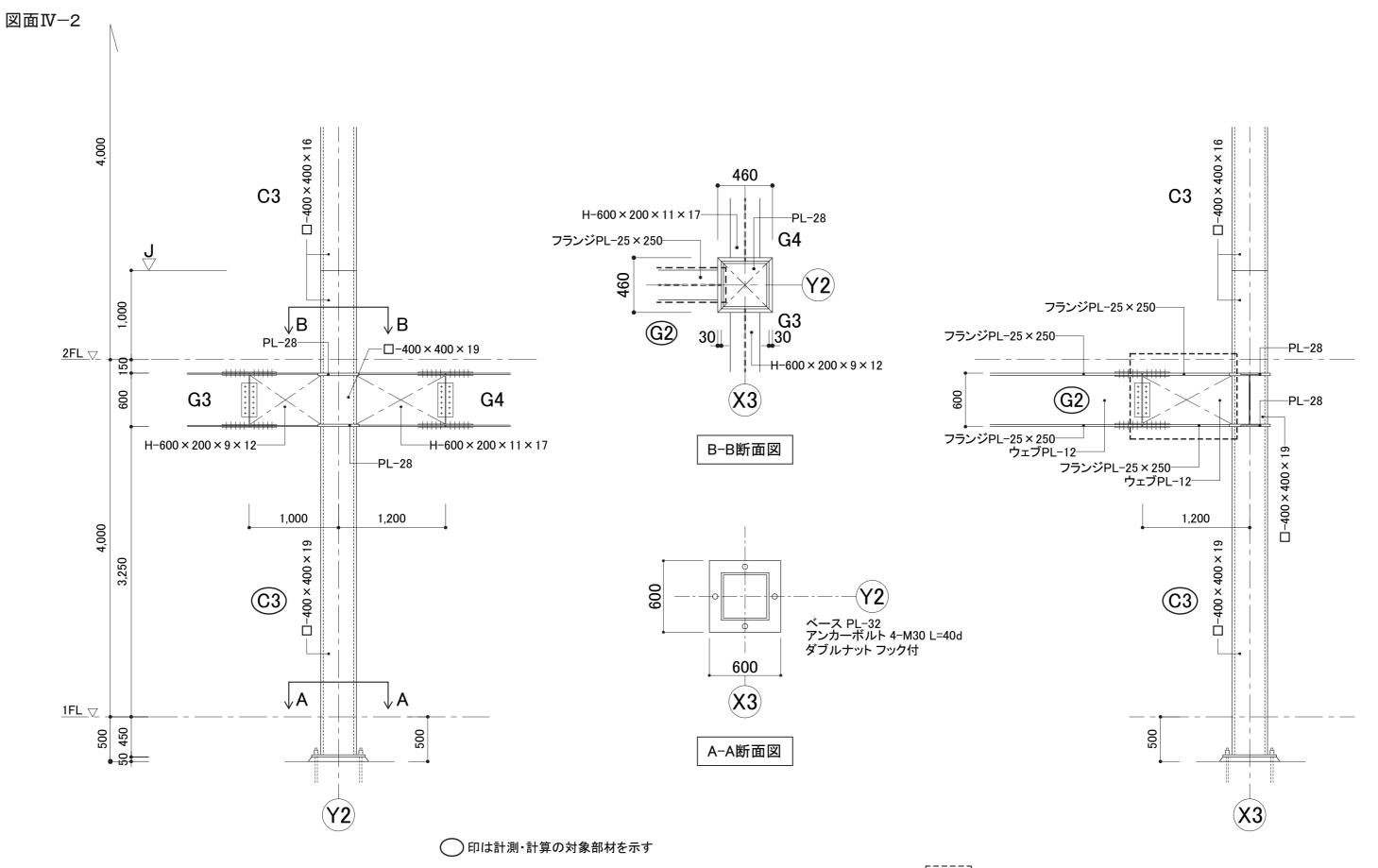
- 積算範囲は、鉄骨柱C3の第1節〔Y2通り、X3通り〕1台、 2階梁G2〔Y2通り、X2通り~X3通り間〕1台とする。
- 2. 鋼板の数量は、面積 (m²) とする。
- 3. 溶接の数量は、図面IV-2 内 [2階Y2、X3] について計測・計算し、 すみ肉溶接脚長6mmに換算した延長さ (m) とする。
- 4. 高力ボルトの数量は、本数とする。
- 5. 柱の継手および現場溶接は計測の対象としない。
- 6. Jはジョイント位置を示す。

1,200 1,000 1,200 3,500 000 J G3 G4 3,500 第2節柱 C3 C1 C1 G3 G4 4,000 C1 C3 C1 G3 G4 第1節柱 4,000 (C3)C1 C1 5,000 7,000 (Y2) **Y3** X3 通り 軸組図

図面Ⅳ-1







注1:溶接の計測は【____】内について計測する。 注2:梁継手リストは図面Ⅳ-3 表-2による。

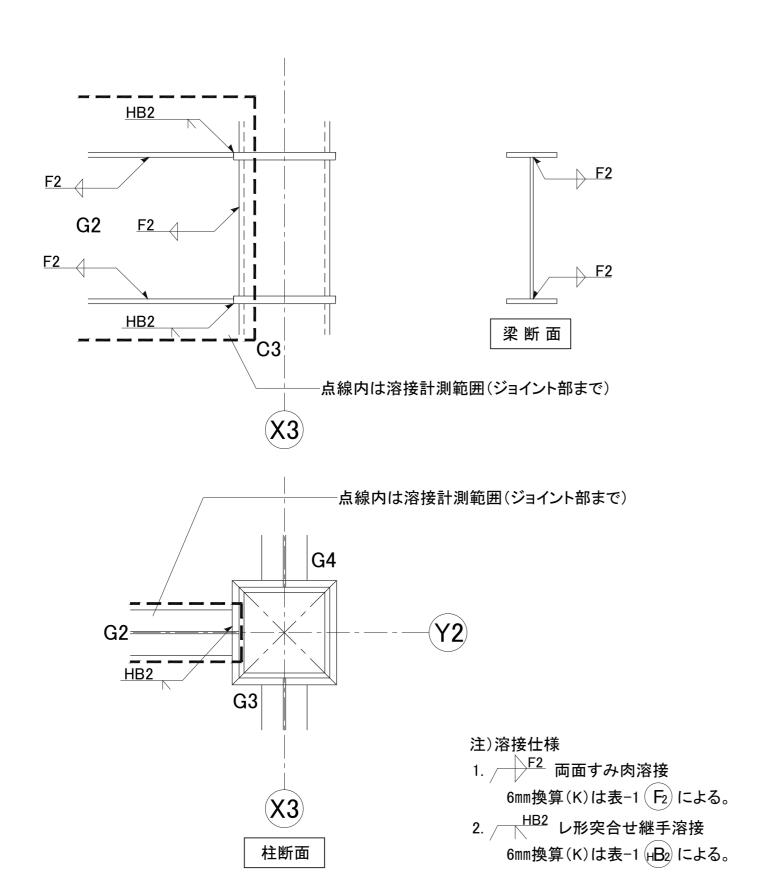


表-1 溶接換算表





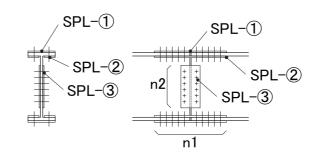
٠,				
	t	K	t	K
	4	0.50	23	7.79
	5	0.89	24	7.79
	6	1.39	25	8.95
	7	1.39	26	10. 18
	8	2.00	27	10.18
	9	2.72	28	11. 49
	10	3.56	29	11.49
	11	3. 56	30	12.88
	12	4.50	31	12.88
	13	5. 56	32	14. 35
	14	5. 56	33	15.90
	15	6.72	34	15.90
	16	8.00	35	17.54
	17	3.98	36	17.54
	18	4.81	37	19. 25
	19	4.81	38	19. 25
	20	5. 73	39	21.03
	21	6.72	40	22.90
	22	6.72		

t	K	t	K
4	1. 15	23	17.77
5	1.99	24	18.70
6	2.50	25	19.65
7	3.06	26	20.64
8	3.36	27	21.66
9	3.70	28	22.71
10	6.09	29	23. 79
11	6. 52	30	24. 91
12	7.00	31	26.05
13	8.06	32	27. 23
14	8.66	33	28. 44
15	9.30	34	29.68
16	9.99	35	30. 95
17	10.72	36	32. 25
18	11.50	37	33. 59
19	12. 33	38	34. 95
20	14. 44	39	36. 35
21	16.02	40	37. 78
22	16.68		

表-2 梁継手リスト

	記号		フランジ		ウュ	ェブ
'	配亏	SPL -①	SPL -2	HTB(n1)	SPL -3	HTB(n2)
	G2		2PL -19 100 × 650	20-M22	2PL -9 170 × 380	12-M22

SPLはスプライスプレートを示す



問題 I-1 解答

(数量欄の点は小数点を示す)

名称	摘要	単位	数量	
異形鉄筋	SD295A D13	t	① 99	1
普通コンクリート	27N S-18	m ³	196	
普通合板型枠	地上軸部 階高4.0m	m ²	³ 275	
H形鋼	SS400 H-200×100×5.5×8	t	4 29	. 2
アンカーボルト	M20 L=600	本	⁽⁵⁾	

27. 83 ×	105% =	29. 22 →	29. 2
設計数量	所要数量割増	所要数量	内訳書数量

設計数量 所要数量割增 所要数量 内訳書数量

= 99.08 → 99.1

95. 27 × 104%

名 称	摘 要		金	額	(円)
異形鉄筋	SD295A D13	6	5	946	000
普通コンクリート	27N S-18	7	3	136	000
普通合板型枠	地上軸部 階高4.0m	8	1	512	500
H形鋼	SS400 H-200×100×5.5×8	9	2	336	000
アンカーボルト	M20 L=600	10		14	400

問題 I-2 解答

名 称
① 現場管理費 または 現場経費

名 称		金	額	(円)
共通仮設費	12)	18	414	000
純工事費	13)	604	849	000
工事原価	14)	648	216	000
一般管理費等	15)	59	506	000

1	, ,	3.14% = 18,414,059 → 表-1	18,414,000 千円未満切り捨て
1	(586,435,000 + 直接工事費	18,414,000) = 604,849, 共通仮設費 純工事費	
1	, , ,	43, 367, 000) = 648, 216, 現場管理費 工事原価	
1	684, 216, 000 × 工事原価	9. 18% = 59, 506, 228. 8 - 表-2	→ 59,506,000 千円未満切り捨て

問題 Ⅱ 解答

部位	記号	材種	サイス゛	単位		設計数量
		コンクリート		m3	1	2.00
基礎	F1	型枠		m2	2	4.00
		鉄筋	D19	m	3	40.00
		コンクリート		m3	4	1.46
基礎梁	FG1	型枠		m2	⑤	7.32
全 從未	I di	鉄筋	D13	m	6	71.44
		业人月月	D22	m	7	36.12
		コンクリート		m3	8	1.30
		型枠		m2	9	8.64
2階柱	C1		D13	m	10	84.00
		鉄筋	D22	m	11)	26.96
			D25	m	12	4.00
		コンクリート		m3	13)	1.23
		型枠		m2	14)	7.26
2階大梁	G2	鉄筋	D13	m	15)	68.20
		业人月月	D22	m	16	39.83
		圧接	D22+D22	か所	17)	3
		コンクリート		m3	18)	0.68
2階小梁	B1	型枠		m2	19	4.56
2四小木			D13	m	20	36.00
			D19	m	21)	29.10
		コンクリート		m3	22	2.68
R階床板	S1	型枠		m2	23	17.86
八十日八八八八		鉄筋	D10	m	24)	206.00
		业入月月	D13	m	25)	217.00

名 称	コ	ン	クリ	_	١		型		枠					鉄			ĵ	筋			圧 接
名 称	寸		法	か所	体 積	寸	法	か所	面	積	形状	径	長さ	本数	か所	D10	D13	D19	D22	D25	D22+D22
基礎 F1	2.00	2.00	0.50	1	2.00	8.00	0.50	1		4.00	X方向主筋	D19	2.00	10	1			20.00			
							8.00 =	2.00 x 4	4 (周長))	Y方向主筋	D19	2.00	10	1			20.00			
				(1)				2									3			
					2.00					4.00								40.00			

1	No.			

名 称	Ξ	1 <i>></i>			<u>*</u>		型	:	枠						鉄				筋			圧 接
名 称	寸		法	か所	体 積	寸	法	か所	面	積	形	状	径	長さ	本数	て かり	所 D10	D13	D19	D22	D25	D22+D22
基礎梁 FG1	0.40	1.20	3.40	1	1.63	2.40	3.40	1		8.16	上端	通し筋	D22	4.94		3	1			14.82		
	さは柱内法 .00 - 0.30 ·						2.40 =	1.20 x 2	2 (両面)							4.94 =	: 3.40 + 0.77 x 2 梁長 定着					
F1取合	0.40	0.30	0.70	A 2	▲ 0.17	0.60	0.70	A 2	A	0.84	端部	上端筋	D22	1.95	:	2	1			3.90		
							- 0.60 =	0.30 x	2 (両面)				\			: 0.85 + 0.77 + 0 梁長/4 定着 র					
0.30 = 1.20 梁成	0 - 0.90	~基礎	0	.70 = 1.00 基礎半帧) - 0.30 畐 柱半幅						下端	通し筋	D22	4.94	;	3	1			14.82		
																4.94 =	3.40 + 0.77 x 2 梁長 定着					
											中央	下端筋	D22	2.58		1	1			2.58		
														\			= 1.70 + 0.44 x 2 梁長/2 余長	2				
											腹	更筋	D13	3.46	2×2	2	1	13.84	1			
														\		3.40+0 梁長+:						
											スタ	ラッフ゜	D13	3.20	18	8	1	57.60)			
											3.2		·0 + 1.20 幅 梁成				割り付け本数 17 + 1 = 182		20 = 17			
					41.46				(5)	7.32								⑥ 71.44	ŀ	⑦ 36.12		

名 称	コ	ン			<u>*</u>		型		枠							鉄			j	筋			圧 接
名 你	寸		法	か所	体 積	寸	法	か所	面	積	形	状	径	長さ		本数	か	所 D10	D13	D19	D22	D25	D22+D22
柱 2C1	0.60	0.60	3.60	1	1.30	2.40	3.60	1		8.64	主	筋	D22	3.	87	4		1			15.48		
	階高	_	_/_				2.40 =	0.60 x 4	1 (周長))					\	_ 3	.87 =	= 3.60 + 0.27 階高 最上階:	リック				
											主	筋	D25	1.	00	4		1				4.00	
																		をの異なる主筋を で置(+1.00m)まで					
											主	:筋	D22	2.	87	4		1			11.48		
															4	2	.87 =	= 3.60 - 1.00 + (階高 下部1m					
												~° 644~	D10		40	0.5			04.00				
												プ筋 = 0.60 v	D13 (4(周長)	¬/	40	35		1	84.00				
											I	0.007	()(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			_		割付け氧 一般部	3.60 - 0.60 = 3 階高 梁成	3.00			
																		廿口部					
																		━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	、数 『 3.00 ÷ 0.10	- 30 → 30			
																		仕口部	\$ 0.60 ÷ 0.15 † 30 + 4 = 34	= 4 → 4			
					<u> </u>														400		(1)	(1)	
					81.30				9	8.64									① 84.00		① 26.96	① 4.00	

to the	٦	ン			<u> </u>	哲	Į.	7	枠						鉄	ŧ			筋			圧 接
名 称	寸		法	か所	体 積	寸	法	か所	面	積	形	状	径	長さ	本	数か所	D10	D13	D19	D22	D25	D22+D22
大梁 2G2	0.40	0.70	4.40	1	1.23	1.65	4.40	1		7.26	上端	通し筋	D22	5.4	17	3 1				16.41		1.50
	柱内法長さ 5.00 - 0.30 -						0.70 x 梁成	2 +0.40 梁底	- 0.15 スラブ [40 + 0.77 + 0 長 定着 柞					
						L					左端部	5上端筋	D22	2.2	20	1 1				2.20		
															4		10 + 0.77 + 0 2/4 定着					
											右端部	3上端筋	D22	1.7	73	1 1				1.73		
																	10+ 0.33 + 0					
											下端	通し筋	D22	5.4	7	3 1				16.41		1.50
																	40 + 0.77 + 6 長 定着 を					
											中央	下端筋	D22	3.0	08	1 1				3.08		
																	.20 + 0.44 x i 長/2 余長	2				
											スタラ	ラッフ°	D13	2,2	20	31 1		68.2	0			
											2.20		0 + 0.70幅 梁成				割り付け本数 30 + 1 = 312).15 = 29.3 →	•30		
					13				14)	5 06								15		16		17
					1.23					7.26								68.2	0	39.83		3.00

夕 张	=	ı ン	クリ		<u>}</u>		型		枠						鉄				筋			圧 接
名 称	寸		法	か所	体 積	寸	法	か所	面	積	形	状	径	長さ	本数	か月	斤 D10	D13	D19	D22	D25	D22+D22
小梁 2B1	0.30	0.60	3,80	1	0.68	1,20	3.80	1		4.56	上端	通し筋	D19	5.14	3		1		15.42			
	大梁内法長 .00 + 0.60 柱]_/_				0.60 x i 梁成	2 +0.30 · 梁底	- 0.15 x スラフ [*] 厚	2					5		3.80 + 0.67 x 2 梁長 定着					
	11	木竹田									下端	通し筋	D19	4.56			1		13.68			
																	3.80 + 0.38 x 2 梁長 定着(20d					
											スタラ	ラッフ°	D13	1,80	20		1	36.00				
											1.80	0 = (0.3 梁 [[]	60 + 0.60幅 梁成	D) x 2			割り付け本数 19 + 1 = 20本		20 = 19			
		_	_	(18 0.68		_		19	4.56				_				②0 36.00	29.10			

No.		
110.		

く 体 積 算

名 称	Ξ	ュン	ク リ	_	١		型		柜	九 十						1	鉄			ĵ	筋			圧 接
2	寸	•	法	か所	体 和	責寸	Ý	法	か所	面利	漬 F	形岩	犬	径	長さ	<u> </u>	本数	か所	D10	D13	D19	D22	D25	D22+D22
床板 RS1	3.80	4.70	0.150	1	2	.68 3	.80	4.70	1	17.	.86 短	迈上端	筋	D13	4.	58	25	1		114.50				
																	,				割り付け本 24 + 1 = 2		0.20 = 23.5 -	> 24
					0.30 - 0.4											1	4.5		0 + 0.39 x 2 5長 定着					
				₹. 	王/2 梁順	虽 梁幅/2 【					短	辺下端	筋	D13	4.	10	25	1		102.50				
		短辺長	長さは梁内派	長さ																			0.20 = 23.5 -	> 24
	L		= 4.00 + 0.6														4.:	10 = 3.8	0 + 0.15x 2		24 + 1 = 2	5本 		
																		床机	長 定着					
											長	是辺上端	筋	D10	5.3	30	20	1	106.00					
															1						割り付け本	数 = 3.80 ÷	0.20 = 19	
																	5.		70 + 0.30 x 2 反長 定着	2	19+1-2	0本		
											長	是辺上端	艄	D10	5.0	00	20	1	100.00					
																					割り付け本	数 = 3.80 ÷ 0本	0.20 = 19	
																\perp	5.		70 + 0.15x 2					\Box
																		床村	坂長 定着					
					22				(23)									24)	25				
						68				17.	.86								206.00					

問題 🎞 解答

	場所・部屋・部	部位	仕 上	単位		設計数量	里里
外		床	コンクリート金こて押え アスファルト防水	m²	1	224	84
部	屋根	床	軽量コンクリート	m³	2	17	99
仕 上	连似	床	伸縮目地	m	3	177	60
上		立上り	コンクリート打放し下地 アスファルト防水	m ^²	4	27	54
		床	タイルカーペットA t6 乾式二重床 H94	m [‡]	5	165	10
		幅木	ビニル幅木 石こうボード t12.5 GL工法 H60	m	6	16	85
		幅木	ビニル幅木 石こうボード t12.5 H60(LGS面)	m	7	7	15
		幅木	ビニル幅木 コンクリート打放し H60(柱型を含む)	m	8	30	05
	事務室	壁	ビニルクロス 石こうボード t12.5 GL工法	m [‡]	9	19	29
	争勿主	壁	ビニルクロス 石こうボード t12.5 (LGS面)	m ^²	10	20	51
内如		壁	ビニルクロス コンクリート打放し	m [‡]	11)	52	89
部仕		柱	ビニルクロス コンクリート打放し	m ^²	12	28	25
上		天井	ロックウール吸音板t9 石こうボード t9.5 LGS	m ^²	13	150	50
		廻縁	塩ビ	m	14)	45	60
	給湯室	幅木	ビニル幅木 石こうボード t12.5 H60(LGS面)	m	15)	3	65
	和 <i>加</i>	壁	ビニルクロス 石こうボード t12.5 GL工法	m [‡]	16	4	19
	女子更衣室	壁	ビニルクロス 石こうボード t12.5 (LGS面)	m [‡]	17)	12	28
	王乃文〔又	天井	ロックウール吸音板t9 石こうボード t9.5 LGS	m [‡]	18)	6	70
	備品庫	柱	EP塗り コンクリート打放し	m [‡]	19	3	38
			外部アルミ製建具周囲モルタル充填(防水剤入り)	m	20	46	00
			網入磨き板ガラス t10	m [*]	21)	16	80
	開口部		フロートガラス t10	m ^²	22	5	40
			アルミ製建具用ガラス止めシーリング(片面数量)	m	23	71	20
			木製建具面 SOP(合成樹脂調合ペイント)	m ^²	24)	17	35
	間仕切		LGS t100	m [*]	25	45	89

問題 Ⅲ 解答注意点

- ※ 壁の計測・計算について
 - (1) 各室壁及び柱のH寸法は、 2.70m(天井高さ)で計算しても、2.64m・2.60m(天井高さ-幅木高さ)で計算しても、どちらでも正解です。
 - (2) 各室壁のW寸法で、2面同じ長さのW寸法があった時、 2倍で計算しても、一面づつ計算しても、どちらも正解です。
 - (3) 各室柱のW寸法は、同じ長さのW寸法があった時、 倍数で計算しても、一面づつ計算しても、どちらも正解です。
 - (4) 各室壁及び柱のW寸法は、トータル寸法で計算しても正解です。
 - (4) 各室壁の開口部寸法で、同じ大きさの開口部があった時、 倍数で計算しても、一つづつ計算しても、どちらも正解です。
- ※ 間仕切の計測・計算について
 - (1) 間仕切のW寸法の取り方は、 X方向を優先して計測しても、Y方向を優先して計測しても、どちらも正解です。
 - (2) 間仕切のW寸法で、同じ長さのW寸法があった時、 倍数で計算しても、一つづつ計算しても、どちらも正解です。
 - (3) 間仕切の計算は、 トータルW寸法で計算しても正解です。
 - (4) 間仕切の開口部寸法で、同じ大きさの開口部があった時、 倍数で計算しても、一つづつ計算しても、どちらも正解です。

外部仕上•屋根

仕 上 積 算

(公社)日本建築積算協会14号用紙 (1/13)

床 床 立上り その他 数 算 仕 ŀ. 量 仕 上 計 数 量 什: L 計 数 量 基本寸法 立上り寸法 X方向 15.80 $16.00 - (0.10 \times 2)$ 0.60 - 0.15 = 0.45Y方向 $15.00 - (0.10 \times 2)$ 14.80X方向欠除部 3.00-0.10+0.10 3.00 Y方向欠除部 3.00-0.10+0.10 3.00 ① 解答例 ③ 解答例 ④ 解答例 コンクリート打放し下地 屋根 コンクリート金こて押え 屋根 伸縮目地 屋根 床 アスファルト防水 床 立上り アスファルト防水 X方向 15.80×6 $2 \times (15.80 + 14.80) \times 0.45$ 15.80×14.80 233.84 94.80**▲**3.00 欠除部 ▲3.00×3.00 $\triangle 9.00$ 欠除部 ▲3.00×1 27.54(m2)224.84 Y方向 14.80×6 88.80 (m2)欠除部 ▲3.00×1 **▲**3.00 177.60 ② 解答例 屋根 軽量コンクリート (m)床 (t80) ①より 224.84×0.08 17.99 (m^3)

x y H L
 仕
 上
 積
 算
 15.80×11.80×2.70
 55.20

(公社)日本建築積算協会14号用紙 (2/13)

	床					壁				天		井	7 0 14
仕 上	計	算	数	量	仕 上	計	算	数	量	仕 上	計算	数量	その他
⑤ 解答例					⑥ 解答例					① 解答例			
事務室 床	タイルカーペット』 乾式二重床H9				, .	ビニル幅木 石こうボードt12.5	5 GL工治	去 H6	Ó	事務室 天井	ロックウール吸音板 石こうボードt9.5 L		
	15.80×11.80		186	.44	部屋Y1通り	15.80×1		15	.80		15.80×11.80	186.44	
給湯室他欠除			▲20	.70	X1•Y1壁付柱欠除	▲ 0.60×1		A (.60	給湯室他欠除		▲20.70	
X1·Y1柱欠除			欠除	なし	X2•Y1壁付柱欠除	▲ 0.80×1		A (.80	X1·Y1柱欠除		欠除なし	
X2·Y1柱欠除			欠除	なし	X3·Y1壁付柱欠除	▲ 0.30×1		A (.30	X2·Y1柱欠除		欠除なし	
X3·Y1柱欠除	(0.18m2) ▲0.30×0.60		欠除	なし	部屋X1通り	$(11.80-8.45) \times 1$		í	35	X3·Y1柱欠除	(0.18m2) $\triangle 0.30 \times 0.60$	欠除なし	
X2·Y2柱欠除	$\triangle 0.80 \times 0.80$ (0.24m2)		▲0	.64	X1·Y1壁付柱欠除	▲ 0.60×1		A (.60	X2·Y2柱欠除	$\triangle 0.80 \times 0.80$ (0.24m2)	▲0.64	
X3·Y2柱欠除			欠除	なし						X3·Y2柱欠除	(/	欠除なし	
X2·Y3柱欠除	` /		欠除	なし				(m)	X2·Y3柱欠除	,	欠除なし	
X3·Y3柱欠除	,		欠除	なし						X3·Y3柱欠除		欠除なし	
				.10 n2)						天井点検口	▲0.45×0.45×6 (1.00m2/か所)	欠除なし	
			(1)	14)						照明L1		▲12.00	
部屋X方向:16 0	00-0.10-0.10=15.8	80								Y1通カーテンボックス	$\blacktriangle 6.50 \times 0.20$	▲ 1.30	
部屋Y方向:12.0	00-0.10-0.10=11.8 2.50-0.10+0.05=3	80								Y1通カーテンボックス	$\triangle 6.50 \times 0.20$ (0.44m2)	▲ 1.30	
	8.50-0.10+0.05=									X1通カーテンボックス	,	欠除なし	
												150.50 (m2)	
												(1114)	

x y H L
 仕
 上
 積
 算
 15.80×11.80×2.70
 55.20

(公社)日本建築積算協会14号用紙 (3/13)

床			壁		天		井	その他
仕 上 計 算	数量	仕 上	計 算	数量	仕 上	計算	数量	C V2 IE
		⑦ 解答例		1				
※柱0.50m2以下/か所当りは差し引かない X1・Y1部柱寸法		事務室幅木	ビニル幅木 石こうボードt12.5 H60(I CS面)	カーテンボックス	 		
X寸法:0.80-0.20=0.60					カーテンボックス	KL寸法:		
Y寸法:0.80-0.20=0.60 X2·Y1部柱寸法		給湯室他X方向	2.45×1	2.45	X1•X2間:6.50 X2•X3間:6.50			
X寸法:0.80 Y寸法:0.80-0.20=0.60		給湯室他Y方向	8.45×1	8.45	Y1•Y2間:2.20)		
X3·Y1部柱寸法		WD-1欠除	▲ 0.75×1	▲0.75				
X寸法: (0.80-0.) ÷2=0.30 Y寸法: 0.80-0.20=0.60		WD-2欠除	▲ 2.0×1	▲ 2.00	⑭ 解答例			
X3·Y2部柱寸法 X寸法: (0.80-0.20) ÷2=0.30		開口三方枠欠除		▲ 1.00	事務室	塩ビ	1	
Y寸法:0.80		用口二刀件入床	1.00 \ 1					
X2·Y3部柱寸法 X寸法:0.80				7.15 (m)	部屋X方向	15.80×2	31.60	
Y寸法: (0.80-0.20) ÷2=0.30 X3•Y3部柱寸法					部屋Y方向	11.80×2	23.60	
X寸法: (0.80-0.20) ÷2=0.30					X2·Y1柱部増	0.60×2	1.20	
Y寸法: (0.80-0.20) ÷2=0.30					X2·Y2柱部増	0.80×4	3.20	
				1	X3·Y2柱部増	0.30×2	0.60	
					X2·Y3柱部増		0.60	
					カーテンボックス Y1通り取合部	$\blacktriangle6.50\times2$	▲ 13.00	
					カーテンボックス X1通り取合部		▲ 2.20	
							45.60	
							(m)	
				1				

仕 上 積 算

x y H L 15.80×11.80 × 2.70 55.20 (公社)日本建築積算協会14号用紙 (4/13)

床 辟 天 井 その他 仕 上 数量 仕 上 計 算 数量 仕 上 計 数量 ⑧ 解答例 ビニル幅木 事務室 幅木 コンクリート打放し H60 部屋Y3通り (15.80-2.45)×1 13.35X2·Y3壁付柱 0.30×2 0.60SSD-1欠除 ▲1.00×1 **▲**1.00 SSD-2欠除 ▲2.00×1 **▲**2.00 部屋X3通り 11.80×1 11.80X3·Y2壁付柱 0.30×2 0.60X3·Y1壁付柱 0.30×1 0.30部屋Y1通り X1·Y1壁付柱 0.60×2 1.20 X2·Y1壁付柱 0.60×2+0.80 2.00部屋中央 X2·Y2交差部柱 0.80×4 3.2030.05 (m)

内部仕上·事務室

仕 上 積 算

(公社)日本建築積算協会14号用紙 (5/13)

	床						壁				天			井	:	7 0	/ila
仕 上	計	算	数	量	仕 上		計	算	数	量	仕	上	計算	数	量	その	1111
				(9 解答例												
					事務室 壁		ビニルクロス 石こうボードt12.5 (去	 							
				1	部屋Y1	通り	$(15.80-0.60-0.80-0.14.1 \times 2.70$	0.30)	38	3.07							
					AW-1ク	く除	(5.40m2/か所) ▲3.00×1.80×4 (3.50-0.70-0.05)		1 2	.60							
					部屋X1	通り	(3.50-0.70-0.05) 2.75×2.70		,	.43							
					AW-2ク	パタ	▲ 2.00×1.80		▲:	3.60							
					幅木ク	く除	▲ 16.85×0.06		A	.01							
				1						29							
									(1	m2)							
					<u>⑩ 解答例</u>		ビニルクロス										
				1	事務室 壁		モールクロス 石こうボードt12.5((LGS	I 面) I								
					給湯室他X	方向	2.45×2.70		(.62							
				,	給湯室他Y	方向	8.45×2.70		22	.82							
		\perp			WD-1ク	(除	▲ 0.75×2.00		A	.50							
		\perp			WD−2 <i>5</i>	(除	▲ 2.00×2.50		A :	.00							
		\perp			開口三方枠。	欠除	▲ 1.00×2.00		A 2	.00							
		\perp			幅木久	く除	▲ 7.15×0.06		A (.43							
									20).51 n2)							

x y H L
 仕
 上
 積
 算
 15.80×11.80×2.70
 55.20

(公社)日本建築積算協会14号用紙 (6/13)

	床					壁				天			井		その他
仕 上	計	算	数	量	仕 上	計	算	数	量	仕 上	計	算	数	量	て の 他
					⑪ 解答例			 							
					事務室 壁	ビニルクロス コンクリート打放し (13.50-0.05-0.1	L								
					部屋Y3通り	$(13.50-0.05-0.1 \\ 13.35 \times 2.70$.0)	36	.05						
					X2·Y3壁付柱欠除	▲ 0.80×2.70		▲ 2	.16						
					X3·Y3壁付柱欠除	▲ 0.30×2.70		▲0	.81						
					SSD-1欠除	▲ 1.00×2.10		▲ 2	.10						
					SSD-2欠除	▲ 2.00×2.10		▲ 4	.20						
					部屋X3通り	11.80×2.70		31	.86						
					X3·Y1壁付柱欠除	▲ 0.60×2.70		▲ 1	.62						
					X3·Y2壁付柱欠除	▲ 0.80×2.70		▲ 2	.16						
					X3·Y3壁付柱欠除	▲ 0.30×2.70		▲0	.81						
					幅木欠除	▲ 19.35×0.06		▲ 1	.16						
									.89 n2)						
		_						(11)	14)						
		_							_						
		-							-						
		\perp							\perp						

x y H L
 仕
 上
 積
 算
 15.80×11.80×2.70
 55.20

(公社)日本建築積算協会14号用紙 (7/13)

		床					壁			天		井		その他	
仕	上	計	算	数	量	仕 上	計	算	数量	仕 上	計算	数	量	その他	
						① 解答例									
						事務室 柱	ビニルクロス コンクリート打放し								
						X1•Y1壁付柱	(0.60+0.60) 1.20×2.70		3.24						
						X2•Y1壁付柱	(0.60+0.80+0.60) 2.00×2.70		5.40						
						X3•Y1壁付柱	(0.60+0.30) 0.90×2.70		2.43						
						X2•Y2壁付柱	(0.80×4) 3.20×2.70		8.64						
						X3•Y2壁付柱	(0.30+0.80+0.30) 1.40×2.70		3.78						
						X2•Y3壁付柱	(0.30+0.80+0.30) 1.40×2.70		3.78						
						X3•Y3壁付柱	(0.30+0.30) 0.60×2.70		1.62						
						幅木欠除	▲ 10.70×0.06		▲0.64						
									28.25						
									(m2)						
					1										

x y H L (公社)日本建築積算協会14号用紙 内部仕上•給湯室 積 算 什: 上 $2.35 \times 2.05 \times 2.70$ 8.80 (8/13) 床 辟 天 井 その他 算 仕 ŀ. 数 量 仕 上 計 数 量 仕 F. 計 算 数 15 解答例 ビニル幅木 給湯室 幅木 石こうボードt12.5 H60(LGS面) 部屋X方向:2.50-0.10-0.05=2.35 部屋Y方向:2.15-0.05-0.05=2.05 部屋X方向 2.35×2 4.70 ミニキッチン部欠除 ▲1.50×1 **▲**1.50 ※柱0.50m2以下/か所当りは差し引かない X1·Y2部柱寸法 $\triangle 0.60$ X1·Y2壁付柱欠除 ▲0.60×1 X寸法:0.80-0.20=0.60 部屋Y方向 2.05×1 2.05開口三方枠欠除 ▲1.00×1 **▲**1.00 3.65 (m)⑩ 解答例 ビニルクロス 給湯室 石こうボードt12.5 GL工法 部屋Y方向 2.05×2.70 5.54ミニキッチン部欠除 ▲0.60×2.10 **▲**1.26 幅木欠除 ▲1.45×0.06 **▲**0.09 4.19 (m2)

内部仕上•女子更衣室

仕 上 積 算

(公社)日本建築積算協会14号用紙 (9/13)

床 辟 天 井 その他 仕 H. 算 数量 什. L. 計 算 数 量 什. L. 計 算 数量 ① 解答例 (18) 解答例 ビニルクロス ロックウール吸音板t9 女子更衣室 女子更衣室 石こうボードt12.5 (LGS亩) 天井 石こうボードt9.5 LGS 部屋X方向:2.50-0.10-0.05=2.35 部屋Y方向:3.00-0.05-0.10=2.85 部屋X方向 2.35×2.70 2.35×2.85 6.706.35 (0.18m2)部屋Y方向 2.85×2.70 7.70 X1·Y3柱欠除 ▲0.60×0.30 欠除なし (0.20m2)▲1.50 天井点検口 ▲0.45×0.45 欠除なし WD-1欠除 ▲0.75×2.00 (0.20m2)幅木欠除 ▲4.45×0.06 $\triangle 0.27$ 照明L2 ▲0.20×1.00 欠除なし 12.286.70(m2)(m2)※柱0.50m2以下/か所当りは差し引かない X1·Y3部柱寸法 X寸法:0.80-0.20=0.60 Y寸法: (0.80-0.20) ÷2=0.30

x y H L (公社)日本建築積算協会14号用紙 内部仕上•備品庫 上 積 算 仕 $2.35 \times 3.25 \times 2.70$ 11.20 (10/13)床 壁 天 井 その他 仕 数量 仕 上 計 算 数量 仕 上 計 数 量 上 19 解答例 備品庫 EP塗り X1·Y2部柱寸法 コンクリート打放し X寸法:0.80-0.20=0.60 Y寸法:0.80-0.10=0.70 部屋X方向 0.60×2.70 1.62 部屋Y方向 0.70×2.70 1.89 幅木欠除 ▲1.30×0.10 **▲**0.13 3.38 (m2)

建 具 積 算 [金 属 製]

(11/13)

l I	寸	法		只	r	Γ 7	12.	<u>海</u>	装					ガ	<u></u> ラ	ス				⇒+ > + ->
	,1	仏	面積	か所	面積計		1		装							1				詰モルタル
符号						種類	係数	W-SOP			種類	計	-	算	PW-10	FL-10		シーリンク゛		防水剤入り
	W	H	Ą	N	AŅ		釵	1	,					T	1	T	1	アルミ建具	T	
(内部)	1				1				1			W	Н	N						
SSD-1	1.00	2 10	2.10	1	2.10						FL-10	1.00	1.80	1		1.80				
SSD-2	2.00	2 10	4.20	1	4.20						FL-10	2.00	1.80	1		3.60			1	
	! ! !	-			1			1	-					1 1 1 1 1					1	1
(外部)	1				-			1						 	-				1	-
AW-1	3.00	1.80	5.40	4	21,60				-		PW-10	3.00	1.20	4	14.40				1	1
	1							1		片面長さ→	シーリンク゛	3.00		2×4				24.00		
	-				1					片面長さ→	シーリンク゛		1.20	8×4				38,40		
											詰モルタル	3.00		2×4						24.00
	-				1				1		詰モルタル		1.80	2×4						14.40
	-				1									 						
AW-2	2.00	1.80	3.60	1	3.60						PW-10	2.00	1.20	1	2.40					
	-				1					片面長さ→	シーリンク゛	2.00		2×1				4.00		
	1				1					片面長さ→	シーリング		1.20	4×1				4.80		
	-				1						詰モルタル	2.00		2×1						4.00
	-				1						詰モルタル		1.80	2×1						3.60
	1 1 1 1				1									1 1 1 1						
	1 1 1 1	-			 									 	21)	22		23		20
合計	1				1									1	16.80			71.20		46.00
	1				1				1					 	(m2)	(m2)		(m)		(m)

建 具 積 算 [木 製] (12/13)

	寸	法	面積				- 1	<u></u> 塗	装				ガ	ラ	ス			シーリンク゛	詰モルタル
符号						種類	係数	SOP			種類	計	算						
	W	Н	A	N	AN	性類	数	木建面			性類	ĒΤ	异						
	-				-														
WD-1	0.75	2.00	1.50	1	1,50	SOP	2.9	4.35		-									
							1.50	×2.9 (係	数)=4.	35									
WD-2	2.00	2.50	5.00	1	5.00	SOP	2.6	13.00		1									
	1		1				5.00	×2.6 (係	数)=13	3.00									
			1		-					1									
	1		1							1						1	1		
	1																		
										1						1	1		
										1									
										1									
			-																
					-			24											
合計								17.35											
	1							(m2)											

間仕切

仕 上 積 算

(13/13)

	床					壁				天				į	井	その他
仕 上	計	算数	女 量	仕	上	計	算	数	量	仕	上	計	算	数	量	その他
				② 解智	5例											
H寸法: 3.80-0.15(天井スラブ)	孠)=3.65		1	Y方向f	憂先	間仕切 LGS	t100									
X1·X2間 Y方向 W寸 0.05+2.15+3.35+3.00	·法:		 	X1·X2 Y方向		8.45×3.65		30	0.84							
事務室·給湯室間 X 2.50-0.10-0.05=2.35	方向 W寸法:		 	女子更	衣室				1.50							
給湯室・備品庫間 X 2.50+0.10-0.80-0.05	方向 W寸法:		 	備品庫		▲ 2.00×2.50			.00							
備品庫·女子更衣室 2.50-0.10-0.05=2.35	間 X方向 W寸法	÷:	 	給湯室		▲ 1.00×2.00			2.00							
			 	事務室・総 X方向	合湯室	2.35×3.65			3.58							
			 	給湯室・化 X方向	#品庫	1.75×3.65			3.39							
			 	^{備品庫・女∃} X方向	更衣室	2.35×3.65			3.58							
									.89							
			 						n2)							
			1													

問題 Ⅳ 解答

名 称	記号	材種	サイズ	単位	設計数量
			H-600 × 200 × 9 × 12	m	① 0 80
		形鋼	H-600 × 200 × 11 × 17	m	2 1 00
		川 ク 郵門	□-400 × 400 × 16	m	3 1 15
			□-400 × 400 × 19	m	4 21
柱	С3		PL-12	m2	⑤ 0 55
		鋼板	PL-25	m2	6 0 49
		到叫作从	PL-28	m2	⑦ 0 42
			PL-32	m2	8 0 36
		溶接長さ	すみ肉溶接6mm換算	m	9 21 31
			PL-9	m2	① 0 26
			PL-12	m2	1 98
梁	G2	鋼板	PL-16	m2	① 0 65
米 	GZ		PL-19	m2	① 52
			PL-25	m2	1 80
		高力ボルト	HTB M22	本	15 104

		鉄 骨 積	算														(1	工/口 个 廷	協会13号 柱−1	
								H-600 × 20	00 🗆	−400×	□-400×	:	PL-12	PL-25	PL-	28	PL-32			
名 称	i	彡 状•寸 法		計算	か所	× 9 × 12	•	×11×17	40	00 × 16	400 × 19									
[柱]																				
		C3 - 1台		A-A断面図寸法	.															
(シャフト) BASE	PL	32	0.60	0.60 1	1												0	36		
				1階階高 ベース 4,000 + 4																
1F 主杉	才 □	400 × 400 × 19	3.67	1	1						3 (67								
				/ ジョイント長さ 2階 1,000 十		=														
2F 主木	<i>t</i> \Box	400 × 400 × 16	1.15	1	1					1 15										Ī
				400+30×2=4	160	<u> </u>														
(2F仕口) ダイヤフラム	PL	28	0.460	0.46 2	1											0 42				
				仕口高さ 上下 600 - 2	ダイヤフラ 28 × 2															
主材		400 × 400 × 19	0.54	1	1						0 !	54								
						柱/2 400/2 -		7フラム出巾 30 =												
2G2 フランシ゛	PL	25	0.250	0.97 2	1									0.4	9					
		梁高さ 上下フランジ厚 600 - 25×2 =	550	ジョイント 1,20	·長さ 0 ー	柱/2 400/2	=													
ウェフ゛	PL	12	0.550	1.00	1								0 55							Ī
<u> </u>					-															
																				T
ST-1										1 15	4 :	21	0 55	0 4	a	0 42	0	36		Ī

			鉄 骨 積	算																		(TI) L	1个注末	伊子は	ふ会13 号 。 柱−2)
名	称	形	状•寸 法		計	算	か所	H-600 × 2 × 9 × 12		H-600 × 200 × 11 × 17	□-40 400 ×		□-400 400 × 1		PL-12	2	PL-25		PL-28	3	PL-32					
					ジョイ 1,0	ン シン シン シン シン シン シン シン シン シン シン シン シン シン	柱/2 400/2	=																		
2G3 主材		Н	600 × 200 × 9 × 1	2 0.80	/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1 イント長さ	1 柱/2	0																		
					1,	,200 –	- 400/2	=																		
2G4 主材		Н	600 × 200 × 11 ×	17 1.00	*	1	1			1 00																
ST-2								0	80	1 00																
ST-1 ((前頁よ	り転記))									1 15		4 21		0 55		0 49		0 42		0 36				
Т								① 0	80	2 1 00	3	1 15	4	4 21	5	0 55	6	0 49	7	0 42	8	0 36				

		鉄 骨 積	算											行)日本建	梁積昇] (劦会13号用約 柱-3)
名称	形	状•寸 法	Ē	十 算	か所									長さ m		易溶接 算係数 k	延長長さ m
		C3 - 2階G2梁位	上口廻り溶打	接													
(G2) DF×フランシ゛	HB2	25	0.25	2 1	1									0 5)	19 65	9 83
				ジョイント長さ 村 1,200 — 40	È/2 00/2 =	=											
フランシ゛× ウェフ゛	F2	12	1.00	2 1	1									2 0)	4 50	9 00
				梁高さ 上下フラ 600 - 25×	ンジ。厚 2 =	550											
主材×ウエブ	F2	16	0.55	1	1									0 5	5	4 50	2 48
													\dagger				
							-	\top									
Т																	921 31

		鉄 骨 積	算																			(11/1	1 个 注 未	(梁-1	
称	形	状·寸 法		計算	I	か所	PL-9		PL-12		PL-16		PL-19		PL-25											
(梁]																		1								
		2階G2 - 1台			1	• •	<u></u>											<u> </u>								_
					6,000) — 1	イント長さ× ,200×2	=																		
	PL	25	0.250	3.60	2 上下25	1 ンジ厚									1	1 80										
				600	25×	2 =	550																			
	PL	12	0.550	3.60		1			1	98																_
ODL 1		10	0.050	0.05								0.05														_
						1		•				0 65	0	52												
			0.170	0.38	4	1												-								
	нтв	M22	20	4	1	1																			80	
	НТВ	M22	12	2	1	1		1																	24	_
								<u>: </u>																		
								<u> </u>																		
							10				_														①5 104	_
	SPL-1 SPL-2	字型 PL PL SPL-2 PL HTB	称 形 状·寸 法 2階G2 - 1台 PL 25 PL 12 SPL-1 PL 16 SPL-2 PL 19	記録 2階G2 - 1台 2階G2 - 1台 2	新 形 状・寸 法 計 算 2階G2 - 1台 PL 25 0.250 3.60 PL 12 0.550 3.60 SPL-1 PL 16 0.250 0.65 SPL-2 PL 19 0.100 0.65 SPL-3 PL 9 0.170 0.38 HTB M22 20 4	称 形 状・寸 法 計 算 ②階G2 - 1台	称 形 状・寸 法 計 算 か所 2階G2 - 1台 PL 25 0.250 3.60 2 1 PL 12 0.550 3.60 1 SPL-1 PL 16 0.250 0.65 4 1 SPL-2 PL 19 0.100 0.65 8 1 SPL-3 PL 9 0.170 0.38 4 1 HTB M22 20 4 1 1 HTB M22 12 2 1 1 HTB M22 12 2 1 1	称 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 深	称 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9	称 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 深	称 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 ②	新 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 PL-16 梁]	新 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 PL-16 ②	称 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 PL-16 PL-19 深	称 形 状・寸 法	称 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 PL-16 PL-19 PL-25 梁]	称 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 PL-16 PL-19 PL-25 ②	称 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 PL-16 PL-19 PL-25 深	称 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 PL-16 PL-19 PL-25 PL-16 PL-19 PL-25 PL-16 PL-19 PL-25 PL-17 PL 16 PL-19 PL-25 PL-19 PL-25 PL-19 PL-25 PL-19 PL-25 PL-19 PL-19 PL-25 PL-19 PL-18 PL-19 PL-25 PL-19 PL-19 PL-25 PL-19 PL-19 PL-25 PL-19 PL-19 PL-25 PL-19 PL-19 PL-19 PL-25 PL-19 PL-19 PL-19 PL-25 PL-19 PL-19 PL-19 PL-19 PL-25 PL-29 PL 19 PL-10	称 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 PL-16 PL-19 PL-25 PL-25 PL-19 PL-25	称 形 状寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 PL-16 PL-19 PL-25 梁 1 2階G2 - 1台 PL 25 0.250 3.60 2 1 1 1 80 1 1 80 1 1 80 1 1 80 1 80 1	称 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 PL-16 PL-19 PL-25 要] 2階G2 - 1台	称 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-9 PL-12 PL-16 PL-19 PL-25	新 形 状・寸 法 計 算 か所 PL-12 PL-16 PL-19 PL-25 PL-16 PL-16 PL-16 PL-16 PL-19 PL-25 PL-16	数	形 F 大・寸 法 計 算

平成 27 年度建築積算士試験【二次試験】

Ⅱ短文記述試験

問題-1

内訳書に記載する細目単価の決定方法に、専門工事会社やメーカーなどから見積を徴集する方法がある。その場合の見積徴集や価格決定の方法について建築積算士ガイドブックの内容に準じて、**61文字以上200文字以内**で記述しなさい。

模範回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1		信	頼	9	な	け	る	複	数	の	会	社	み	ኦ	_	カ	_	な	۲	か
2	ς,	見	積	畢	を	徴	集	٦	J	比	較	検	討	す	る	0				
3		鍃	毑	額	だ	ナ	で	な	>	施	Н	実	績	や	取	引	条	件	•	見
4	積	内	呦	9	廿	様		数	뻬	•	単	価	な	ڵ	ŧ	精	査	٩	る	0
5		₩	た	,	見	積	書	は	設	計	事	務	所	•	建	設	会	社	の	積
6	算	船	門	さ	調	達	部	門	な	۲	0	提	圧	先	に	応	じ	J	•	金
7	額	な	最	終	希	亞	金	額	が	異	な	る	ケ	1	ス	ŧ	多	S	0	
8		そ	9	た	8	•	実	績	値	を	分	析	Γ	τ	係	数	掛	ナ	を	L,
9	見	積	毑	額	を	割	引	い	\mathcal{A}	適	正	な	価	格	を	決	定	ф	る	0
10																				

(建築積算士ガイドブック P223~224)

平成 27 年度建築積算士試験【二次試験】

問題-2

建築の地震に対する構造形式に耐震構造、制振構造、免震構造がある。そのうち制振構造と免震構造について、それぞれの概要と特徴を建築積算士ガイドブックの内容に準じて、**61文字以上200文字以内**で記述しなさい。

模範回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1		制	振	構	造	۲	は	•	振	動	を	制	御	す	る	構	造	で	あ	IJ、
2	振	動	を	制	御	٩	る	た	8	の	特	別	な	装	置	ゃ	機	構	(ダ
3	く	۱,	1	等)	が	組	み	込	ま	れ	た	構	造	0					
4		特	別	な	装	置	ゃ	機	構	に	ょ	IJ	,	風	ゃ	地	震	1	ょ	る
5	建	築	物	0	振	動	の	Н	ネ	ル	H,		を	吸	収	L	•	揺	ħ	を
6	低	減	す	る	0															
7		免	震	構	造	\mathcal{F}	は	•	建	築	物	9	特	定	の	層	に	設	置	さ
8	れ	た	免	震	部	材	に	ょ	J	τ	地	震	т	ネ	ル	ギ	_	を	吸	収
9	Γ	•	建	築	物	9	揺	れ	を	抑	え	る	構	造	0					
10		現	時	点	で	は	最	ŧ	耐	震	性	の	高	い	構	造	方	式	0	

(建築積算士ガイドブック P291~292)